

取材のご案内

2020 年 10 月 23 日

報道関係者各位

東京ミッドタウンマネジメント株式会社

本日結婚を発表、ナインティナイン岡村さん出演の「決算！忠臣蔵」は本日上映！
先月ベネチア国際映画祭で銀獅子賞を受賞した黒沢清監督が 10/24(土)に登壇！

**会期中満員御礼！好評開催中の「HIBIYA CINEMA FESTIVAL」、
10 月 23 日(金)から 3 日連続、上映前監督舞台挨拶を開催！**

東京ミッドタウン日比谷では 11 月 8 日（日）までの期間、「HIBIYA CINEMA FESTIVAL（日比谷シネマフェスティバル）2020」を開催しており、オープンな空間で快適に映画を鑑賞いただけることから、大変好評をいただいております。

今年で 2 回目となる「トロント日本映画祭 in 日比谷」では、日本映画を字幕付きで楽しむだけでなく、上映前に監督が登場し、作品についての想いやみどころを語ります。今週末 10 月 23 日（金）～25 日（日）の夜は「決算！忠臣蔵」、「旅のおわり世界のはじまり」、「カメラを止めるな！」をそれぞれ上映、全ての作品の**上映前 18:30～監督登壇トークイベントを開催**いたします。24 日（土）の「旅のおわり世界のはじまり」の上映前には、先月ベネチア国際映画祭で銀獅子賞を受賞した黒沢清監督が登場します。**ご取材ご希望の方は 2 ページ目最下部のお問合せ先までお気軽にご連絡くださいませ。**

※屋外上映はすべて観覧無料。ただし、ウッドチェアの特別観覧席の一部は事前予約となります。（当日参加も可）

※ステップ広場内は感染症対策のため、マスク着用とソーシャルディスタンスの確保をご案内しておりますが、広場が混雑した場合には入場を制限させていただく可能性がございます。

10/23（金）



決算！忠臣蔵

主演：堤真一、岡村隆史

中村義洋監督 登壇

©2019「決算！忠臣蔵」製作委員会

10/24（土）



旅のおわり世界のはじまり

主演：前田敦子

黒沢清監督 登壇

©2019「旅のおわり世界のはじまり」製作委員会 / UZBEKKINO

10/25（日）



カメラを止めるな！

主演：濱津隆之

上田慎一郎監督 登壇

©ENBU セミナール

※監督挨拶は、**18：30～19：00、本編上映は 19：00～** 雨天時はアトリウムでの実施となります。

◆HIBIYA CINEMA FESTIVAL とは？

HIBIYA CINEMA FESTIVAL は、今年で 3 回目となる様々な視点で「新しい映画の楽しみ方を提案する」参加型の映画祭。昨年約 110 万人が来場したこの一大エンターテインメントイベントは、普段は静かな空間で観ることの多い映画を、屋外大型ビジョンを中心に映画にまつわる様々なものやことを通して映画を知ったり楽しむ機会を提供します。

登壇監督紹介



©2019「決算！忠臣蔵」製作委員会



中村義洋 監督

決算！忠臣蔵/ 10月23日(金) 中村義洋 監督

1970年茨城県生まれ。映画監督、脚本家。

主な監督作品に『アヒルと鴨のコインロッカー』(07)、『チームバチスタの栄光』(08)、『フイッシュストーリー』(09)、『ジェネラル・ルージュの凱旋』(09)、『ゴールデンランパー』(10)、『ちょんまげぶりん』(10)、『ボテチ』(12)、『みなさん、さようなら』(13)、『白ゆき姫殺人事件』(14)、『予告犯』(15)、『残穢-住んではいけない部屋』(16)、『殿、利息でござる！』(16)、『忍びの国』(17)、『決算！忠臣蔵』(19)など。

旅のおわり世界のはじまり / 10月24日(土) 黒沢清 監督

1955年兵庫県神戸市生まれ。立教大学在学中より8ミリで映画を撮り始め、1983年商業映画デビュー。『CURE キュア』(97)が海外で紹介されたのを契機に国際的評価を得る。近年の作品にフランス映画として制作された『ダゲレオタイプの女』(16/トロント映画祭)、『散歩する侵略者』(16/カンヌ映画祭・ある視点)、1ヶ月間ウズベキスタンに滞在し撮影を行った『旅のおわり世界のはじまり』(18/ロカルノ映画祭クロージング作品)などがある。現在、東京芸術大学大学院教授。10月16日公開の最新作『スパイの妻』(20)はベネチア映画祭にて銀獅子賞(最優秀監督賞)を受賞した。* () 内は制作年



©2019「旅のおわり世界のはじまり」
製作委員会/UZBEKKINO



黒沢清 監督



©ENBU ゼミナール



上田慎一郎 監督

カメラを止めるな！ / 10月25日(日) 上田慎一郎 監督

1984年、滋賀県出身。中学生の頃から自主映画を撮りはじめ、高校卒業後も独学で映画を学ぶ。2009年、映画製作団体PANPOKOPINA(パンポコピーナ)を結成。『お米とおっぱい』『恋する小説家』『テイク8』等8本の映画を監督し、国内外の映画祭で20のグランプリを含む46冠を獲得する。2017年、初の劇場用長編『カメラを止めるな！』が2館から350館へ拡大する異例の大ヒットを記録。三人共同監督作の『イソップの思うツボ』が2019年8月に公開、そして劇場用長編第二弾となる『スペシャルアクターズ』が同年10月に公開。2020年5月、監督・スタッフ・キャストが対面せず“完全リモート”で制作する作品『カメラを止めるな！リモート大作戦』をYouTubeにて無料公開。同年9月、新作映画『ボプラン』製作開始。

今後の上映作品ラインナップ

白石和彌監督より
メッセージVTRあり

10/27
(火)



ひとよ

塚本連平勉監督 登壇

10/28
(水)



今日も嫌がらせ弁当

犬童一心監督 登壇

10/30
(金)



最高の人生の
見つけ方

©2019「ひとよ」製作委員会
©2019「今日も嫌がらせ弁当」製作委員会
©2019「最高の人生の見つけ方」製作委員会

ご取材ご希望の方は以下までお問い合わせください。

<報道関係者お問い合わせ先>

「東京ミッドタウン日比谷」PR事務局(株式会社 プラップジャパン 内)担当:近藤、鈴木、向井

TEL:03-4580-9107 / FAX:03-4580-9133

MAIL:pr.midtown-hibiya@ml.prap.co.jp